

鹿児島市立美術館
市美だより 2019.夏号

近代洋画の巨匠 30歳の**前衛**作品
 黒田 清輝

嶋立庵は、「こころなき身にもあはれは知られけり嶋立沢の秋の夕暮」と詠んだ西行法師をしのび、1664(寛文4)年に結ばれた草庵です。神奈川県大磯町にあり、京都の落柿舎や滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場の一つとして知られています。



《大磯嶋立庵 (おおいそしぎたつあん)》1896年

黒田清輝は、1896(明治29)年に1か月ほど大磯に滞在し、嶋立庵へも写生に行きました。この作品には、そのときの印象を元に、庵の門とそこへ続く橋が即興的に描かれています。

木の葉の間に見える青空と、地面に映った黄色い日差しを赤い輪郭線で囲んだ斬新な作風は、この作品を出品した第1回白馬会展でも話題を呼びました。明治の終わりから大正にかけて流行した、個性あふれる表現主義的な描き方を先取りするような作品です。

《特別企画展》シャルル=フランソワ・ドービニー展
 ～印象派への架け橋～
 7月19日(金)⇒9月1日(日)

アトリエ船を作り、旅する画家として後の印象派にも大きな影響を与えたフランス人画家・ドービニー。フランスや国内の所蔵品を紹介する国内で初めての本格的な回顧展です。詩情あふれる水辺の風景画をお楽しみください。



《ボットン号》1869年頃、個人蔵、©Archives Musées de Pontoise

夏の**所蔵品展** 7月9日(火)～9月29日(日)

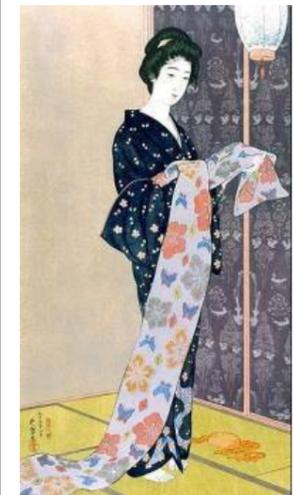
●展示中の主な作品●

西洋絵画



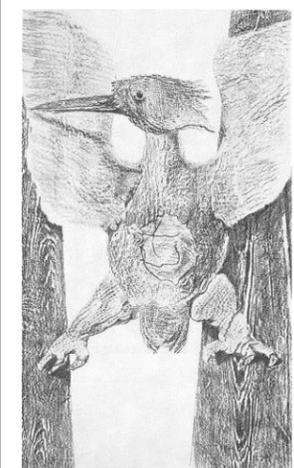
ピエール=オギュスト・ルノアール
 《バラ色の服を着たコローナ・ロマノの肖像》1912年頃

日本・版画



橋口五葉
 《夏装の女》1920年

エルンスト展示期間(9/5～9/29)



マックス・エルンスト
 博物誌「振り子の起源」1926年

特集：郷土の**三巨匠**による風景画

夏の特別企画展「ドービニー展」にちなみ、ヨーロッパへ渡り、西洋絵画を学んだ郷土の三巨匠、黒田清輝、藤島武二、和田英作による風景画を紹介し、バルビゾン派、印象派に影響を受けた黒田の光あふれる清々しい色彩、藤島のダイナミックで洗練された表現、そして富士山に代表される和田の生き生きとした写実性、三者それぞれの風景画をお楽しみください。



1931(昭和6)年に描かれた藤島武二の《潮岬風景》だよ



★ **ギャラリートーク** のご案内 (作品解説会)
 学芸員が作品について分かりやすく解説します。

毎週土曜日、
 14:00～15:00
 実施しています。



《トーク内容》

- 7月13日 小企画展「空の色、水の色」
- 7月20日 特別展「シャルル=フランソワ・ドービニー展」
- 7月27日 夏の所蔵品展「西洋美術」
- 8月3日 特別展「シャルル=フランソワ・ドービニー展」
- 8月10日 夏の所蔵品展「彫刻・工芸」
- 8月17日 特別展「シャルル=フランソワ・ドービニー展」
- 8月24日 夏の所蔵品展「西洋美術」
- 8月31日 特別展「シャルル=フランソワ・ドービニー展」
- 9月7日 夏の所蔵品展「彫刻・工芸」
- 9月14日 夏の所蔵品展「西洋美術」
- 9月21日 夏の所蔵品展「西洋美術」
- 9月28日 夏の所蔵品展「日本の美術」

秋の特別企画展
 鹿児島市制130周年記念
 没後25年

曾宮一念展
 溶岩と噴煙を愛した色彩の画家
 10月3日(木)～
 11月10日(日)
 乞うご期待!



《南岳爆発》1961年